

「冒険しないタイプ。 まだ住んでいる」



荒木秀一氏

おも川崎周辺に
まだ住んでいる

1000万円の懸賞金

がかかるといふとあつて、にわかバウンティハンター(賞金稼ぎ)が目的を変え、行方を追う騒動にもなっている。逃亡者の逮捕、連行を専門とする米FBI捜査官で本職のバウンティハンターである荒木秀一氏のプロファイリングは近場説

受刑者(33)は、整形後の顔写真が公開された後に大阪南港のフェリー乗り場で捕まつた。最後は、一時身を潜めていた沖縄・オーハ島へ移動しようとしていた。やはり土地勘のある場所だった。

高橋容疑者が逃亡生活を送った場所で判明しているのは、出身地の神奈川・川崎のほか横浜、埼玉・所沢などだが、荒木氏は川崎周辺にいまだ潜んでいる可能性も指摘する。

「10年以上も川崎に住んでいたところから、冒険しないタイプ。他人の住民票を引っ張り、銀行口座を開設するなど賢く、川崎に別の隠れ家を事前に確保してもおかしくない」と荒木氏は話している。

今どこに…プロの『賞金稼ぎ』はこう読む

英國人英会話講師リンゼイさん殺害事件で逃亡した市橋達也